

2021年11月15日

各 位

会社名 株式会社 CSS ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田口 泰一
(JASDAQ コード番号 2304)
問合せ先 執行役員 岩崎 善彦
(TEL 03-6661-7840)

繰延税金資産の取崩し及び通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は2021年9月期(2020年10月1日～2021年9月30日)において繰延税金資産の取崩しを行うとともに、2021年2月15日に公表しました通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を加味し将来課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部216百万円を取崩し、同額を法人税等調整額として計上いたしました。本会計処理は実質的な支出を伴わず、連結キャッシュフローに影響を及ぼすものではありません。

2. 通期連結業績予想と実績値の差異について

(1) 2021年9月期連結業績予想と実績値の差異(2020年10月1日～2021年9月30日)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	10,317	△301	22	△185	△36.77円
実績値(B)	9,412	△717	34	△420	△83.36円
増減額(B-A)	△905	△415	11	△234	—
増減率(%)	△8.8	—	51.5	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年9月期)	11,962	△1,072	258	23	4.65円

(2) 連結業績予想の差異の理由

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が長期化する中、スチュワード事業及びフードサービス事業において、主要顧客であるホテルの需要激減が継続したことにより、売上高は2021年2月15日に公表した業績予想を下回ることとなりました。また、売上高の低下に伴う売上総利益の

減少や雇用の安定・確保のための休業補償の計上により、営業利益も業績予想を下回りましたが、経常利益については、雇用調整助成金の受給額が当初の見込みを上回ったため、業績予想とほぼ同水準の結果となりました。

また、上記 1 に記載の繰延税金資産の取崩しにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は業績予想を大幅に下回る結果となりました。

以 上